

# 事務事業評価シート

24年度実施の事務事業 (25年度評価実施)	<input checked="" type="checkbox"/> サービス事業 <input type="checkbox"/> プロジェクト事業 <input type="checkbox"/> 定型事業 <input type="checkbox"/> 投資的事業			
会計区分(会計名を記入)	<input type="checkbox"/> 一般会計 <input checked="" type="checkbox"/> 特別会計(国保)		<input type="checkbox"/> 企業会計( )	財務会計上の短縮番号 8455 8485
第1期実施計画の 分類番号 / 事業番号 / 枝番号	2081	1	担当部課名	福祉部 国保・年金課
			担当課長名	綿谷 憲司

## 1 事務事業の概要

施策名	みんなで支える医療保険
第1期実施計画の事業名	健康づくりの支援(保健事業、特定健康診査等事業)
財務会計上の事業名	保健事業、特定健康診査等事業
事業の対象【誰(何)を】	被保険者
事業の手段【どうする(させる)ことで】	特定健康診査・特定保健指導、脳ドック助成、体育施設利用補助などを実施
事業の目的【どのような結果を得るか】	生活習慣病を主とした疾病の発症、重症化を予防する。
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成 年度 ~ ) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度~平成 年度)
事業内容の見直し	<input checked="" type="checkbox"/> 実施(直近)平成21年度 <input type="checkbox"/> 未実施
※見直し内容を記入	簡易人間ドック補助、健康世帯報奨を廃止
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠となる法令の条項までを記入	国民健康保険法第82条

## 2 事業コスト・指標値の推移

事業コスト等	区分	22年度 (決算)		23年度 (決算)		24年度 (決算)		25年度 (予算)		H24/H23
	事業費(千円)	57,147		71,407		74,128		91,780		103.8%
	人件費(人・千円)	0.80	5,180	1.00	6,800	0.85	6,020	0.85	6,020	85.0%
内訳	正職員	0.60	4,800	0.80	6,400	0.75	5,850	0.75	5,850	93.8%
	再任用短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	任期付短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	アルバイト	0.20	380	0.20	400	0.10	170	0.10	170	50.0%
	支出合計 A	62,327		78,207		80,148		97,800		102.5%
財源	国・府支出金	45,449		31,307		35,618		36,102		113.8%
	受益者負担 B									-
	その他財源	11,698		40,100		38,510		55,678		96.0%
	一般財源	5,180		6,800		6,020		6,020		88.5%
	受益者負担率 B÷A									-

指標値	区分	内容	単位	22年度	23年度	24年度	25年度	目標値 (H26)
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	
(1)	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	特定健康診査受診率	%	45.4	43.5	45	48	50
(2)	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	特定保健指導実施率	%	1.1	0.4	2	10	20
(3)	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
(4)	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							

## 3 成果の達成状況

<input type="checkbox"/> A 目標に向かって順調に推移している <input checked="" type="checkbox"/> B 目標に向かって順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない	<input checked="" type="checkbox"/> 1 事業内容・手法を改善 <input type="checkbox"/> 2 現在の事業内容を継続 <input type="checkbox"/> 3 事務事業を廃止	選択の理由	保健指導実施率の向上のため、実施方法(実施日、時間帯、場所など)の検討が必要。
(参考) 今後のアウトソーシング導入の可否	<input checked="" type="checkbox"/> 1 導入済 <input type="checkbox"/> 2 事業の全てが可能 <input type="checkbox"/> 3 事業の一部が可能 <input type="checkbox"/> 4 不可能	選択の理由	特定健診、保健指導ともに医師会へ委託して実施している。

## 4 担当部長が考える今後の方向性・見通し

評価を踏まえた課題と対策 ・特定健康診査については府内ではトップクラスの受診率であり現状維持。 ・特定保健指導については実施率の大幅な向上にむけ、実施方法の見直しを検討。 ・その他の事業の窓口受付業務はアウトソーシングを進める。	(参考)昨年度記載の「評価を踏まえた課題と対策」 ・特定健康診査については府内ではトップクラスの受診率であり現状維持。 ・特定保健指導については実施率の大幅な向上にむけ、実施方法を見直し ・その他の事業の窓口受付業務はアウトソーシングを進める。
---	---

# 事務事業評価シート

24年度実施の事務事業 (25年度評価実施)	<input type="checkbox"/> サービス事業 <input type="checkbox"/> プロジェクト事業 <input checked="" type="checkbox"/> 定型事業 <input type="checkbox"/> 投資的的事业			
会計区分(会計名を記入)	<input type="checkbox"/> 一般会計 <input checked="" type="checkbox"/> 特別会計(国保) <input type="checkbox"/> 企業会計( )			財務会計上の短縮番号   8320
第1期実施計画の 分類番号 / 事業番号 / 枝番号	2082	1	担当部課名	福祉部 国保・年金課
			担当課長名	綿谷 憲司

## 1 事務事業の概要

施策名	みんなで支える医療保険
第1期実施計画の事業名	医療費適正化の推進
財務会計上の事業名	一般事務事業
事業の対象【誰(何)を】	被保険者
事業の手段【どうする(させる)ことで】	レセプト点検の実施
事業の目的【どのような結果を得るか】	不適切な請求、過誤請求を発見し、医療費の適正化を図る
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成 年度 ~ ) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度~平成 年度)
事業内容の見直し	<input checked="" type="checkbox"/> 実施(直近)平成21年度 <input type="checkbox"/> 未実施
※見直し内容を記入	柔道整復療養費支給申請書の内容点検を専門業者に委託。
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠となる法令の条項までを記入	

## 2 事業コスト・指標値の推移

事業コスト等	区分	22年度(決算)		23年度(決算)		24年度(決算)		25年度(予算)		H24/H23
	事業費(千円)		1,881		1,880		1,585		1,662	84.3%
	人件費(人・千円)	1.10	6,360	1.20	7,200	1.30	7,090	1.30	7,090	108.3%
内訳	正職員	0.70	5,600	0.80	6,400	0.80	6,240	0.80	6,240	100.0%
	再任用短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	任期付短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	アルバイト	0.40	760	0.40	800	0.50	850	0.50	850	125.0%
	支出合計 A		8,241		9,080		8,675		8,752	95.5%
財源	国・府支出金									-
	受益者負担 B									-
	その他財源									-
	一般財源		8,241		9,080		8,675		8,752	95.5%
	受益者負担率 B÷A									-

指標値	区分	内 容	単位	22年度	23年度	24年度	25年度	目標値(H26)
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	
(1)	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	レセプトの全数点検	件	392,758	393,360	393,911	408,000	420,000
(2)	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	点検による1人当たり財政効果額	円	1,748	1,832	2,514	2,600	2,700
(3)	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
(4)	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							

## 3 成果の達成状況

<input type="checkbox"/> A 目標に向かって順調に推移している <input checked="" type="checkbox"/> B 目標に向かって順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない	<input checked="" type="checkbox"/> 1 事業内容・手法を改善 <input type="checkbox"/> 2 現在の事業内容を継続 <input type="checkbox"/> 3 事務事業を廃止	選択の理由 柔道整復療養費の支給申請書の点検については、期待した効果が上がっていない。
(参考) 今後のアウトソーシング導入の可否	<input checked="" type="checkbox"/> 1 導入済 <input type="checkbox"/> 2 事業の全てが可能 <input type="checkbox"/> 3 事業の一部が可能 <input type="checkbox"/> 4 不可能	選択の理由 レセプト並びに柔道整復療養費支給申請書の内容点検について、専門の業者に委託している。

## 4 担当部長が考える今後の方向性・見通し

評価を踏まえた課題と対策	(参考) 昨年度記載の「評価を踏まえた課題と対策」
柔道整復療養費申請書の点検については、委託先を大阪府国保連合会に変更し、効果を検証。	あまり効果が上がっていない柔道整復療養費申請書の点検方法や委託先の見直しが必要。

# 事務事業評価シート

24年度実施の事務事業 (25年度評価実施)	<input type="checkbox"/> サービス事業 <input type="checkbox"/> プロジェクト事業 <input checked="" type="checkbox"/> 定型事業 <input type="checkbox"/> 投資的事業			
会計区分(会計名を記入)	<input type="checkbox"/> 一般会計 <input checked="" type="checkbox"/> 特別会計 (国保 <input type="checkbox"/> 企業会計 (   )		財務会計上の短縮番号	8340
第1期実施計画の 分類番号 / 事業番号 / 枝番号	2083	1	担当部課名	福祉部 国保・年金課
			担当課長名	綿谷 憲司

## 1 事務事業の概要

施策名	みんなで支える医療保険			
第1期実施計画の事業名	国民健康保険賦課徴収事業			
財務会計上の事業名	賦課徴収事業			
事業の対象【誰(何)を】	被保険者			
事業の手段【どうする(させる)ことで】	口座振替の推進、収納対策の強化			
事業の目的【どのような結果を得るか】	国民健康保険料収納率の向上			
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 (平成   年度 ~ ) <input type="checkbox"/> 時限 (平成   年度~平成   年度)			
事業内容の見直し	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 (直近) 平成21年度 <input type="checkbox"/> 未実施			
※見直し内容を記入	債権回収センターとの連携による差押えの実施			
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度			
※根拠となる法令の条項までを記入	国民健康保険法第76条			

## 2 事業コスト・指標値の推移

事業コスト等	区分	22年度 (決算)		23年度 (決算)		24年度 (決算)		25年度 (予算)		H24/H23
		事業費(千円)		847		206		156		
人件費(人・千円)		10.40	50,300	9.20	41,200	10.85	49,230	10.85	50,230	117.9%
内訳	正職員	4.40	35,200	3.20	25,600	3.85	30,030	3.85	30,030	120.3%
	再任用短時間勤務職員	1.00	3,600	1.00	3,600	2.00	7,200	2.00	7,200	200.0%
	任期付短時間勤務職員		0		0		0	2.50	7,000	-
	非常勤職員	5.00	11,500	5.00	12,000	5.00	12,000	2.50	6,000	100.0%
	アルバイト		0		0		0		0	-
支出合計 A			51,147		41,406		49,386		52,162	119.3%
財源	国・府支出金									-
	受益者負担 B									-
	その他財源									-
	一般財源		51,147		41,406		49,386		52,162	119.3%
受益者負担率 B÷A										-

指標値	区分	内 容	単位	22年度	23年度	24年度	25年度	目標値 (H26)
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	
(1)	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	現年度分保険料収納率	%	85.33	85.71	86.42	87.00	88.50
(2)	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	口座振替世帯率	%	30.79	31.02	30.30	32.00	35.00
(3)	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
(4)	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							

## 3 成果の達成状況

<input type="checkbox"/> A 目標に向かって順調に推移している <input checked="" type="checkbox"/> B 目標に向かって順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない	<input checked="" type="checkbox"/> 1 事業内容・手法を改善 <input type="checkbox"/> 2 現在の事業内容を継続 <input type="checkbox"/> 3 事務事業を廃止	選択の理由	収納率、口座振替世帯率とも微増にとどまっている。現年度収納率向上のため、対策を検討する必要がある。
(参考) 今後のアウトソーシング導入の可否	<input type="checkbox"/> 1 導入済 <input type="checkbox"/> 2 事業の全てが可能 <input checked="" type="checkbox"/> 3 事業の一部が可能 <input type="checkbox"/> 4 不可能	選択の理由	保険料賦課に関する窓口業務はアウトソーシング可能であるが、保険料の納付相談や徴収事務は困難。

## 4 担当部長が考える今後の方向性・見通し

評価を踏まえた課題と対策	(参考) 昨年度記載の「評価を踏まえた課題と対策」
・推進員制度を廃止し、現年度分保険料の収納率向上をめざした対策を実施。 ・窓口受付業務のアウトソーシングを推進。	・推進員制度を見直し、収納対策全体を見直す必要がある。 ・窓口受付業務のアウトソーシングを推進する

# 事務事業評価シート

24年度実施の事務事業 (25年度評価実施)	<input type="checkbox"/> サービス事業 <input type="checkbox"/> プロジェクト事業 <input checked="" type="checkbox"/> 定型事業 <input type="checkbox"/> 投資的事業			
会計区分(会計名を記入)	<input type="checkbox"/> 一般会計 <input checked="" type="checkbox"/> 特別会計(期高齢者医療特別会計) <input type="checkbox"/> 企業会計( )		財務会計上の短縮番号	2147
第1期実施計画の 分類番号 / 事業番号 / 枝番号	2083	担当部課名	福祉部 保険医療課	
		担当課長名	玉手 邦至	

## 1 事務事業の概要

施策名	みんなで支える医療保険			
第1期実施計画の事業名				
財務会計上の事業名	保険徴収事業			
事業の対象【誰(何)を】	75歳以上の高齢者(65歳から74歳までの方で一定の障害があると認めの方)			
事業の手段【どうする(させる)ことで】	普通徴収対象者への口座振替の推進。保険料滞納者への徴収員による訪問徴収等収納対策の強化。			
事業の目的【どのような結果を得るか】	後期高齢者医療保険料収納率の向上			
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成20年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度～平成 年度)			
事業内容の見直し	<input checked="" type="checkbox"/> 実施(直近)平成20年度 <input type="checkbox"/> 未実施			
※見直し内容を記入	平成20年 新設			
実施根拠	<input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度			
※根拠となる法令の条項までを記入	高齢者の医療の確保に関する法律			

## 2 事業コスト・指標値の推移

事業コスト等	区分	22年度 (決算)		23年度 (決算)		24年度 (決算)		25年度 (予算)		H24/H23
		事業費(千円)		1,367		1,299		82		
人件費(人・千円)		0.80	3,350	0.80	3,400	1.30	4,390	1.20	4,340	162.5%
内訳	正職員	0.30	2,400	0.30	2,400	0.30	2,340	0.30	2,340	100.0%
	再任用短時間勤務職員		0		0		0	0.10	360	-
	任期付短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0	0.50	1,200	0.40	960	-
	アルバイト	0.50	950	0.50	1,000	0.50	850	0.40	680	100.0%
支出合計 A			4,717		4,699		4,472		4,434	95.2%
財源	国・府支出金									-
	受益者負担 B									-
	その他財源									-
	一般財源		4,717		4,699		4,472		4,434	95.2%
受益者負担率 B÷A										-

指標値	区分	内 容	単位	22年度	23年度	24年度	25年度	目標値 (H26)
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	
(1)	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	保険料収納率	%	98.98	99.09	99.00	99.10	99.10
(2)	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	普通徴収対象者	人	4229	3335	3870	3500	-
(3)	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	口座振替率	%	41.7	57.8	57.4	65.7	-
(4)	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							

## 3 成果の達成状況

<input type="checkbox"/> A 目標に向かって順調に推移している <input checked="" type="checkbox"/> B 目標に向かって順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない	<input checked="" type="checkbox"/> 1 事業内容・手法を改善 <input type="checkbox"/> 2 現在の事業内容を継続 <input type="checkbox"/> 3 事務事業を廃止	選択の理由 平成26年4月を目処に、徴収システムの改善を検討中
(参考) 今後のアウトソーシング導入の可否	<input type="checkbox"/> 1 導入済 <input type="checkbox"/> 2 事業の全てが可能 <input checked="" type="checkbox"/> 3 事業の一部が可能 <input type="checkbox"/> 4 不可能	選択の理由 簡易な業務等を外部委託することにより、事務効率化が見込める。

## 4 担当部長が考える今後の方向性・見通し

評価を踏まえた課題と対策	(参考)昨年度記載の「評価を踏まえた課題と対策」
後期高齢者医療制度施行から5年を経過した現在、制度のあり方について検討されているところである。厚生労働省の動向を踏まえ、安定した医療保険制度の構築を目指し、市民のニーズ及び理解を得つつ昨年に引き続き運用する次第である。	後期高齢者医療制度廃止後の新たな制度のあり方について、厚生労働省の動向を踏まえ、安定した医療保険制度の構築を目指し、市民のニーズ及び理解を得つつ運用する次第である。